



- 串間市立図書館 ☎ 72-1177
- 開館 = 午前10時～午後6時
- 休館日 = 毎週月曜日
- HP = <http://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

新刊情報

- チンギス紀 (北方 謙三/著)
- 魂手形 (宮部 みゆき/著)
- 半逆光 (谷村 志穂/著)
- 千里をゆけ (武川 佑/著)
- 本日も晴天なり (梶 よう子/著)
- もはや僕は人間じゃない (爪 切男/著)
- 命とられるわけじゃない (村山 由佳/著)
- こころの散歩 (五木 寛之/著)
- さよなら、ながいくん。(川上 弘美/著)
- 沙林 (帯木 蓬生/著)
- 前夜 (森 晶磨/著)

「新謎解きは ディナーのあとで」



警視庁に栄転した風祭警部は、大きなミスを犯して国立署に舞い戻る。麗子の後輩に新人の若宮愛里が加わり、新メンバーで難事件に挑むが…。毒舌執事・影山の推理がさえわたる本格ミステリ。『さら』掲載に書き下ろしを追加。

「ノラネコぐんだんと 金色の魔法使い」

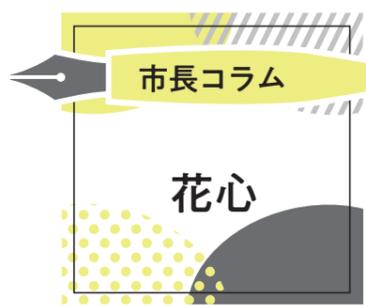


各地の名物魚料理を味わいながら、広い世界を旅していたノラネコぐんだん。あるとき、「人喰い鬼が子どもをさらって食べている」という恐ろしい噂を耳にして…!? 「初めての読み物」に最適な、冒険物語シリーズ第2弾。

今月のテーマ展示 「園芸」特集



春から夏にかけて植物がぐんぐん育つ時期です。土壌の作り方、植え方のコツ、品種の選び方など分からないところは本が教えてくれますよ。ぜひ暮らしの中で園芸を楽しんでみてくださいね。



市長コラム

花心

春は卒業、進学など出会いと別れの季節ですね。私の孫も4月から新社会人となり、真新しい背広にネクタイを締めて家を出ていく姿を見送りました。りりしい姿に目が潤みましたが、今後社会人としてさらなる成長を楽しみにしています。

また、春は桜の季節でもあります。ピンク色の花びらが咲き誇る桜を見て期待に胸が膨らんだり、散る花びらを見てどこことなく悲しい気持ちになるなど、さまざまな感情が湧き出てくると思います。

私は市長になって毎月、本城にある吉田兼好神社に串間の安心・安全祈願にお参りしています。春になると参道入り口付近にある金川五子さん宅には、黄色の花をたくさん咲かせたイペーの樹があり、その美しさに誘われ中に入ると、ペチュニアやコチョウランの花などが満開に咲き誇っています。先日金川さんにお会いした際に、小さなつぼみのかわいい花があったので「何の花ですか?」と尋ねると「これは晴れの日に満開に咲く『お天気花』です。花が枯れたらすぐに取り除かないと次の花が咲かないので、定期的



津曲さんが育てるツツジは今年も色鮮やかに咲き誇っていました

に時間をかけて手入れをしています」と笑顔で答えてくれました。

大東の片野地区にある津曲トシエさん宅の庭や裏山には、毎年4月に赤やピンク色などの約300本のツツジが咲き誇り、集落を鮮やかに彩っています。津曲さんは30年以上前からツツジの苗を一つ一つ植栽し、草刈りや剪定など手入れを続けており、今では一目見ようと市内外から多くの方が訪れるスポットになっています。私自身も毎年足を運び、ツツジの花に癒やされています。

金川さん、津曲さんお2人とも「花は愛情を持って丁寧に育てるほどきれいに咲く」とおっしゃっていました。小説家であった吉川英治は「菊作り咲きそろふ日は陰の人」という句を残しています。「手間がかかる菊を作るのは大変なことであるが、その菊が開花して脚光を浴びるとき、手間をかけて育てた人は陰の人として見守っている」という意味です。この句にもあるように、長年手間をかけてすばらしい花を残しているお2人の花心に感謝です。

ひとりひとりが幸せな社会のために

地域のチカラを見直してみませんか? —地域づくりへ参加のお誘い—

【問い合わせ先】
総合政策課地域振興係
☎ 55-1153

昔と比べてあなたの住んでいる地域の今はどう変化していますか? 今と昔はどちらが暮らしやすかったですか?

昔といっても10年前、20年前、30年前と人によって想像する「昔」は違うかもしれませんが、「昔より若い人が減った」「昔より地域のつながりが薄くなった」というのは共通しているのではないのでしょうか。

今は「昔」よりも情報・流通・交流などが多様化・複雑化していることから、暮らし方や働き方、考え方が「昔」と全く違うことも多くありますね。そして、これからもこの多様化・複雑化は進んでいきます。今の若い世代が「昔はよかった」とつぶやく日はそう遠くないのかもしれませんが、

現在あなたが暮らしている地域が、自分たちの子や孫が今後も豊かに住み続けられる地域であるためには、

未来を見据えた今の行動が非常に大切です。

本市では、現在暮らしている地域で今後も豊かに暮らしていくための仕組みづくりとして、地域連携組織の設立を目指しています。

地域連携組織は、地域内における住民相互のつながりを基礎として、住民自らが構成員として参画する地域性の高い組織です。地域内の人的資源を最大限に活用し、地域を経営する観点に立った取り組みを行うことを目標としています。

例えば、地域交通の在り方についての検討や有償ボランティア、シルバー人材の活用なども長期的な取り組みのひとつですが、あなたやあなたの隣人が、地域で困っている人への手を差し伸べ、差し伸ばしてもらえ、地域のことを地域の皆で考え助け

合う、そういった仕組みづくりが行える組織を目指していますので、閲覧板に付いてくる各地区の地域連携組織の機関紙に目を通していただき、あなたが地域にできることについて少しでも考えていただければ幸いです。

この地域連携組織は、行政の主導ではなく、地域の人たちの想いが行動になる事業です。

皆さんの地域にも、地域に貢献できる人材が多くいらっしゃるはずです。もちろん、これを読んでくださっているあなたもその一人です。

地域に眠る人材やモノ、自然や文化といった「地域のチカラ」を見直して、皆さんで「昔」のように暮らしやすい地域をもう一度つくってみませんか。

次回からは、各地区の具体的な取り組みをご紹介します。

地域おこし協力隊 活動日記



No. 49

ゆるく 楽しく



上山 千恵美さん

いまだ、大きな移動やイベントは懸念される状況で、コロナ前の日常に戻るにはまだ時間がかかりそうです。しかし、以前よりは少しずつ緩和され、活動も可能な範囲で行われるようになりました。そして、ストップしていた事業や活動も、また少しずつ進み始めました。いくらか事業に関わらせていただく中で、空き家のDIY体験やサイクリング、フットパスに参加させていただきました。

DIY体験では、プロの業者さん指導の下、一般参加者数名で解体や床張り、壁塗りなど楽しみながら作業することができました。サイクリングは、約20キロ弱のコースを数名で走りました。以前に少しロードバイクに乗っていたことはありますが、久しぶりの20キロ弱は、なかなかのものでした。しかし、晴れたお天気に心地のいい風が吹く中、夕日が落ちていくのを眺め、会話しながらのサイクリングは、とても気持ち良かったです。

また、フットパスは実際に参加してみると、地域の方や参加者の方と会話をしながらゆっくり歩くことで、いろいろな発見や収穫がありました。フットパスとは、イギリス発祥の「歩くことを楽しむための道」のことで、ありのままの地域を知り、楽しむことのできる散歩道です。

ながら参加することができ、夜には程よい疲れでぐっすり眠ることができました。意気込んで必死に運動するのは、続かないことが多いと思います。しかし、食事と同じように、誰かとゆっくり会話をしながら取り組むことで、気が付くという運動になっていくこともあります。無理なく心身共に元気になれる、このような活動が広がり、参加者も増えるといいなと思います。

そして1日も早く、みんなが安心して出かけられるようになり、たくさんの方に串間市の魅力を感じてもらいたいです。市内外、老若男女問わず、さまざまな方が串間市を楽しむことができればいいなと思います。

協力隊として1年が経とうとしたころ、スランプに陥りました。考えれば考えるほど、迷子。どんどんネガティブ思考…超ネガティブ期突入。あかん!! そんなある日、晴れた海で最高のリフレッシュができ、何とか徐々にモチベーションを取り戻しました。ウォーキング、サイクリング、サーフィン、キャンプなど、何をしても楽しめる、こんな素敵な環境にいるのに、気に病むのはもったいない! 今年度は、さらに活動範囲が広がることを願って、ポジティブに進みたいところです。